

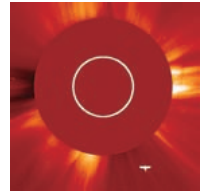
シェア・インターナショナル ニュース

ロンドン・アムステルダム・バルセロナ・ロサンゼルス・東京

古代エジプトが現代のわれわれに語りかける



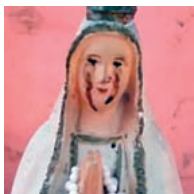
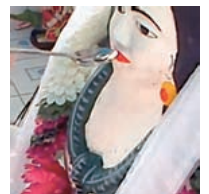
何百万もの人々がユーチューブ上で、イギリスのマンチェスター博物館にある不思議な「回転する像」の映像を見た。何千人もの人々がそれを見に集って来て、その話が世界中のメディアで紹介された。(http://www.youtube.com/watch?v=BorEsDqUunM)
10インチのエジプトの小さな像は、紀元前1800年のもので、死後の世界の神、「愛の主」とも言われるオシリスに捧げられたものであるが、鍵のかかったガラスケースの中で自ら回っているのを博物館の低速度ビデオで見ることができる。科学者と解説者はその現象を説明しようと様々な論を展開しているが、あるものは来場者の歩行の振動がその像の回転の原因となっていると信じている。しかし博物館のエジプト研究者であるキャンベル・プライス氏はそうは思っていない。「それではなぜ隣に置かれている物体が1インチも動かないのか、また何年もの間他の像がそうであるように完全に動くことのなかったその像がなぜ突然動くようになったのか、その像がなぜ完全な円を描いて回るのか、説明がつかない」と語る。博物館のアン・ガーネット氏は、「その部屋に訪問者がいないときでさえその像は90分間に45度ほど動いた」と語った。



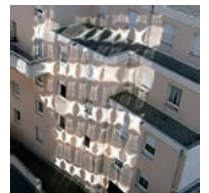
シェア・インターナショナル誌は、30年以上にわたって奇跡についての報道をしてきており、その編集長であるベンジャミン・クレームは次のように説明する。「その像の動きは世界教師マイトレーヤによって、彼の間近に迫った出現を知らせるために現された奇跡なのです。これは今何十と起きている奇跡の一つにすぎません」



- シェア・インターナショナル誌で**最近報道された奇跡**には次のようなものがある。
- シリアの天使：マイトレーヤは負傷した若者の体をかかえ上げた
 - 動き回り、色を変化させる「マイトレーヤの星」の目撃
 - 涙を流す聖母マリアの像
 - 女性の体から粘っこい治癒の液が染み出して、いろいろな物をくっつける。
 - 回教徒の少女の顔に、アラーとモハメッドの徴が現れる
 - 教会のイコンが拭かれると奇跡的にも輝く金色を取り戻した。
 - 1995年の時のように、また新たにヒンドゥ教の神々の像がミルクを飲む
 - 光の模様がビルの壁に現される
 - 窓に光の十字架が現れる



奇跡はますます現れ続けている。シェア・インターナショナル誌は、これらの徴を壮大な話に関連付けている。それは、この危機の時に当たり、霊的な教師方の一団が出てこられるというものである。その長の座に居るのが世界教師マイトレーヤである。いろいろな宗教グループが様々な名前と呼んでいるが、彼は宗教の指導者として来るわけではなく、宗教を持つ者にも持たない者にも、広義の意味の教育者としてやって来る。彼の使命は世界の国々を同胞愛で和合へと導き、正義と分かち合いと世界平和に基く新しい文明を築くように鼓舞することである。



詳細については：www.share-international.org (英語) または <http://sharejapan.org> (日本語) をご参照ください。